

書面による同意確認を行わない軽微な処置等の医療行為について

当院では、「書面で同意をいただく診療項目」と「口頭及び掲示で説明と同意確認をさせていただく診療項目」に分けて対応しております。以下の検査・医療行為は、医師の立ち会いを必要としないものもあり、患者さんの心身へのご負担も一般的に少ないものです。診療を円滑に進めるために、これらの診療項目については、説明と同意確認を口頭及び院内掲示で対応しております。

1) 一般項目

各種問診、視診、身体診察、内診、直腸診、体温測定、身長体重測定、血圧測定、リハビリテーション、栄養指導、食事の決定、薬剤管理指導、診療を目的とした創部・患部等の写真撮影

2) 検査、モニター等

採血(血液学検査・生化学検査・免疫学的検査・感染症検査〔HIV および HTLV-1 を含むウイルス検査等〕)、尿・糞便検査、微生物学的検査(痰・唾液・腔分泌液等の採取)、検体の病理・細胞診検査、生理検査(心電図、脈波、脳波、超音波検査、呼吸機能検査、筋電図検査等)、X線一般撮影検査、X線透視撮影検査、血管内注入造影剤を用いない CT・MRI、経口造影剤を用いる MRI、核医学検査(SPECT/CT を含む)、骨密度測定、心理検査、経皮酸素飽和度(SpO₂)測定検査、皮内反応検査、鼻咽腔・喉頭ファイバー検査、眼科・歯科の各種検査、膀胱ファイバー検査、ウロフロメトリー検査、逆行性尿路造影検査、尿道膀胱造影検査、乳房 X 線検査、動脈圧測定検査、モニター(BIS モニター(脳波をもとに麻酔薬の効果を推定するモニター)、筋弛緩モニター等)、脳波検査、SEP (体性感覚誘発電位)・ABR (聴性脳幹反応) 検査、肛門鏡(肛門検査)、ペースメーカー評価、糖負荷試験、グルカゴン負荷試験、持続血糖モニタリング、時間内歩行試験)、呼気中一酸化窒素濃度測定、ダーモスコピー、階段昇降テスト、運動負荷心電図、妊娠反応検査、経膈超音波、胎児超音波検査、胎児心拍数陣痛図、子宮鏡検査、子宮卵管造影検査、細胞診検体採取(子宮頸部・体部)、生検(子宮頸部・体部、膣、外陰、皮膚)、コルポスコピー、認知・高次脳機能検査

3) 治療、処置

静脈血採血、動脈血採血、創傷処置(洗浄、薬剤充填)、創傷処置、簡単な縫合、抜糸、抜釘、簡単な皮膚切開術、膿瘍切開排膿、ドレナージ、デブリードマン、痰等の吸引、導尿、膀胱留置カテーテル挿入・管理、口腔ケア等の処置、関節注射、トリガーポイント注射、仙骨裂孔 ブロック、銅線牽引(直達牽引)、フットケア、胃管カテーテル挿入・

管理、イレウス管挿入・管理、関節穿刺、胸水除去、腹水除去、末梢神経ブロック、尿管洗浄、点眼処置、目的を同じくする2回目以降の輸血〔特定生物由来製品の使用〕、弾性ストッキング着用、下肢への圧迫ポンプ装着、〔全身麻酔を伴わない〕ドレーン挿入、ブジー挿入、尿道ブジー、温・冷罨法、浣腸、摘便・肛門異物除去、腔洗浄、腔錠の挿入、子宮腔部蒸散術、ペッサリーリング挿入及び抜去、子宮腔内への器具挿入及び抜去、止血処置（バイポーラ）、人工受精、眼処置、鼻内処置、口内処置、爪切り、剃毛、部分抜爪、胼胝・鶏眼処置、液体窒素を用いた凍結処置、気管カニューレ交換、気管内挿管、血液透析、シャント穿刺、チューブやドレーン類の固定・接続部脱着・管理・抜去・各種チューブの管理及び洗浄、動脈留置針挿入、睫毛脱毛、その他上記に準じる患者さんへの心身のご負担が少ない処置・治療、診療科における各種処置、特定行為＊

4) 投薬、投与

通常の投薬、注射、末梢静脈内留置針挿入(点滴路の確保)、持続皮下留置針挿入、CV(中心静脈)ポート留置針挿入、酸素投与等、個別同意を必要とする製剤以外の院内製剤、経管栄養

以上の医療行為は、医師・歯科医師・看護師・技師等によって行われ、一般的な医学的基準から考えて安全と考えられるものですが、それでも合併症(出血・しびれ・アナフィラキシー等)や有害事象等を伴うことがあります。このような合併症や有害事象等は、極めて頻度が低いものの、主として行為者の技量に関わらず、一定の割合で生じる可能性があります。このような場合は、合併症や有害事象等の治療は通常の保険診療として行われます。あらかじめ、ご理解いただきますようお願いいたします。

5) 防犯・監視カメラ

院内には、防犯および患者さんの安全確保のため、建物内・病棟に設置された監視用のカメラがあります。撮影された画像データは、プライバシーに配慮し、厳重に管理します。なお、当該データは個人情報保護方針に従い適切に取り扱います。

ご不明な点がございましたら、担当医師や看護師又はお近くの職員にお申し出ください。今後、院内での検討を経て内容が修正される場合がございます。

2026年10月1日
市立宇和島病院 病院長

*** 特定行為**

- ・ 経口用気管チューブまたは経鼻用気管チューブの位置調整
- ・ 侵襲的陽圧換気の設定
- ・ 非侵襲的陽圧換気の設定
- ・ 人工呼吸器管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
- ・ 人工呼吸器からの離脱

- ・ 褥瘡または慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
- ・ 創傷に対する陰圧閉鎖療法
- ・ 創部ドレーン抜去
- ・ 直接動脈穿刺法による採血
- ・ 橈骨動脈ラインの確保
- ・ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調節
- ・ 脱水症状に対する輸液による補正

- ・ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与
- ・ 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
- ・ 持続点滴中のナトリウム、カリウムまたはクロールの投与量の調整
- ・ 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
- ・ 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
- ・ 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整

* 特定行為に係る研修の該当部分を終了した看護師が、医師の指示に基づき、当院で定める手順書を遵守し、安全に実施できることを当院の運営委員会が認めた場合に行われる、医師の立ち会いを必要としない特定行為を含む。